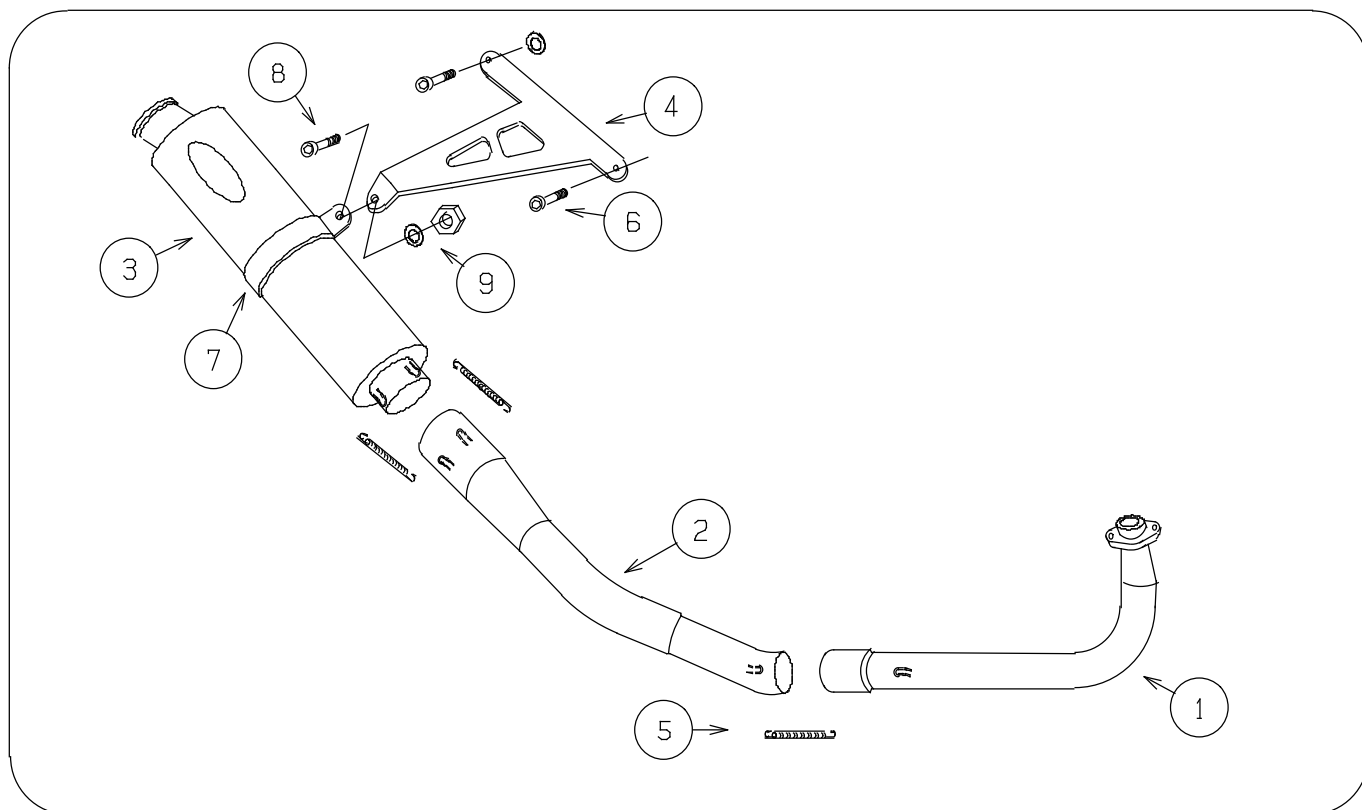


この度は、ノジマ FASARM マフラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
マフラーの取り付けに関しましては、メーカーサービスマニュアルとこの説明書をよくお読み頂き、必ずエンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。

適合車種は、KSR110 用 となっております。

その他の機種には取付けられませんのでご注意下さい。

取付け作業に、ご不明な点などございましたら、弊社までお気軽にお問い合わせ下さい。



1 スタンダードマフラーを取り外します

シートを外します。次にシートカウルを固定するボルト4本をはずし、シートカウルを取り外します。次にマフラーをフランジ部のナット、サイレンサー部分のボルト2本をゆるめ、スタンダードマフラーを取り外します。このマフラー取り外しの際のボルト、ナット類はマフラーを取り付けるときに使用しますので無くさないように注意して下さい。また、ガスケットは新品に交換して下さい。

2 マフラーを取り付けます

a サイレンサーステーの取り付け

サイレンサーステーを付属の M8 - 15 ボルト×2本、ワッシャー1枚を使用して、純正マフラーを取り外したシートフレーム部分に取り付けます(上図参照)。ボルトは仮締めの状態にしておいたほうが、後の調節が楽に行えます。

b エキゾーストパイプのエンジンへの取り付け

エンジンにエキゾーストパイプ取り付けます。この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けたパイプが少し動く程度)にしておいて下さい。

部品名	数量
エキゾーストパイプ	1
テールパイプ	1
サイレンサー	1
サイレンサーステー	1
スプリング(防振)	3
ボルト M8 - L15	2
サイレンサーバンド	1
帯ゴム(バンド内側に使用)	1
ボルト M8 - L20	1
ワッシャー M8	2
ナット M8	1

c テールパイプの取り付け

エキゾーストパイプにテールパイプを差込、スプリングを掛けます。

d サイレンサーの取り付け

テールパイプにサイレンサーを奥まで差込み、サイレンサーバンド・帯ゴムをサイレンサーに取り付けた上で、サイレンサーステーにM8 - 2.0ボルト、ナット、ワッシャーを使用して仮付けします(裏面図参照)。

e スプリングの取り付け

防振スプリング2本をテールパイプとサイレンサーの間にかけます。振動の大きい機種のため、プライヤー等で掴んで取り付けると振動により掴みあとからスプリングが折損します。取付けには市販のスプリングフックを使用してください。

d エキゾーストパイプ本体のボルトを本締め

仮止めしたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のナットは均等に締め込んで下さい。このとき、エキゾーストパイプと車体の干渉が無いようにパイプの角度を調整してください。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招きますのでご注意下さい。

f サイレンサーバンドを本締め

サイレンサーステー、サイレンサーバンドのボルト、ナットを本締めして下さい。パイプ本体と同様に、各部の車体との干渉に注意して取り付けてください。

3 シートカウルの取り付け

取り外したボルトを使用して、もとの位置にシートカウルを取り付けます。

4 最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取ってからエンジンを始動して下さい。エンジンを始動したら、車体への干渉、排気漏れ等がないかどうか確認して下さい。本製品は車体とのクリアランスが非常にシビアになっています。各部クリアランスには充分にご注意ください。

5 キャブレターセッティングについて

JMCAタイプは、すべてスタンダードの状態では性能を発揮するよう設計されております。従ってキャブレターのジェットの変更等、必要はありません。

RACINGタイプはレース用にチューニングしたエンジンでの使用を前提としておりますので、それぞれに合せて最適なセッティングをお客様が行っていただく必要があります。

！ 注

グラスウール(消音材)は消耗品です。グラスウールの量が少ない状態で走行するとサイレンサーの故障につながる場合があります。

走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷に気を付けてください。

シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

JMCAタイプは、JMCA認定を受けておりますので、公道走行においても安心してご使用頂けます。但しグラスウールの消耗等により音量が大きくなった場合、サイレンサーの修理が必要です。弊社にてグラスウールの交換を行います(有償)のでお近くの販売店までご依頼ください。

RACINGタイプはクローズドコース専用です。違法行為となりますので絶対に公道での走行を行わないで下さい。

事故や転倒による修理につきましては、お受けできるケースと修理不可能な場合がありますが、ご依頼の際は一度お電話にてお問い合わせ下さい。その他、マフラー、オートパイなどに関して質問がございましたらお気軽にご連絡下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL 059(378)3505 FAX 059(370)7811

NMM621TI-D